

# M & A を成功に導く PMI の実務 ～グループ管理・不正リスク管理の実務～

近年、日本企業の買収先において重大な不正・コンプライアンス違反（以下、「重大不正等」）の発覚が頻発していますが、「不正リスク管理」「グループ管理」の観点から、失敗事例より得られる教訓や M&A・PMI の実務的な問題点を分析し、重大損失を防ぐための実務事例を多数紹介します！

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2018年 5月16日（水） 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

【ご参加頂きたい方】

- ・経営企画部門、法務部門、内部統制部門、事業部門などのご担当者、管理職の方
- ・M&A・PMI のご担当者

講師 (株)KPMG FAS  
マネージングディレクター(公認会計士) 林稔 氏

講師 (株)KPMG FAS  
シニアマネージャー 佐野智康 氏

講師紹介  
中央大学商学部会計学科卒業。1991年に朝日新和会計社(現あすき監査法人)入所し、会計監査などの業務に従事。1999年から「リスクマネジメント」、「コンプライアンス」、「内部監査」の支援業務を担当。あすき監査法人、KPMG ビジネスアドバイザー一帯での勤務を経て、現在、(株)KPMG FAS のフォレンジック部門に勤務し、海外リスク管理、海外事業管理、不正リスクマネジメント体制構築の支援業務のほか、PMI の支援業務に従事。経済産業省「我が国の海外 M&A 研究会」の委員を務めた。

講師紹介  
慶應義塾大学大学院理工学研究科卒。2006年に投資会社に入社し、投資先の選定・実行・投資後の管理業務に従事。2009年に(株)KPMG FAS に入社し、フォレンジック部門にて不正会計・横領・インサイダー・外国公務員への贈賄・カルテル等の事案に関する不正調査や再発防止体制の構築支援に従事。現在、M&A および PMI を含むグループ管理や不正リスク管理体制の構築支援や、グローバルコンプライアンス体制の構築等の支援業務に従事。

【申込書送付先】 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名( 税込・昼食代含 ) ※申込書を FAX でご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 41,040円 (本体価格 38,000円) 一般 45,360円 (本体価格 42,000円)

181495-0101(※) M & A を成功に導く PMI の実務 ～グループ管理・不正リスク管理の重要性			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

- 参加要領: 申込書は FAX、または下記担当者宛 E-mail にてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問（FAQ）は当会 HP にてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
- ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
- お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamaki@bri.or.jp  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

## 【プログラム】

■開催にあたって■  
多くの日本企業は、成長戦略の実現のために海外 M&A や国内事業再編が必要不可欠ですが、買収先における重大不正等の発覚事例が相次いでおり、直面した企業は次のような負の影響を受けています。

- 事業戦略および中長期経営計画の抜本的な見直し
- 巨額の減損計上や、ステークホルダーへの説明責任を果たすための調査対応負荷

事業戦略の観点から「M&A の失敗」を分析した事例は数多く見られますが、「不正リスク管理」「グループ管理」の観点から分析し、あるべき対応策を論じた解説はあまり見られません。そこで本講座では、主に「不正リスク管理」「グループ管理」にフォーカスし、買収先の重大不正等を予防・早期発見するための実務事例をご紹介します。なお、各章にて、経済産業省「我が国企業における海外 M&A 研究会」の報告書にも言及した解説を行います。

★の箇所は、経済産業省「我が国企業における海外 M&A 研究会」の報告書のポイント解説も行います。

1. 総論—M&A/PMIにおけるグループ管理・不正リスク管理の重要性
  - (1) 買収先における重大不正・コンプライアンス違反等の発生状況
  - (2) 重大不正等の発覚により被る甚大な影響
  - (3) M&A・PMI の現場で直面する課題
  - (4) M&A・PMI におけるグループ管理・不正リスク管理の重要性 ★
2. 買収の失敗事例から学び取るべき教訓（主に不正リスク管理とグループ管理の観点から）
  - (1) 買収の背景と重大不正等の発生原因（複数事例を分析）
  - (2) 買収プロセスの教訓（買収候補先の検討/投資前 DD/意思決定・交渉）★
  - (3) PMI プロセスの教訓（投資後 DD/グループ管理/疑義発覚時の対応）★
3. 買収プロセスのポイントと取組み事例
  - (1) 買収プロセスにおける留意点 ★
  - (2) 取組み事例解説 ①M&A の基本方針の明確化  
②買収プロセスの明確化 ～M&A の基本方針の整備～
4. PMI のポイントと取組み事例
  - (1) PMI の重要性の再確認 ★
  - (2) PMI における留意点 ★
  - (3) 取組み事例解説 ③統合プロセスの形式知化 ～PMI ガイドラインの整備～  
④買収後 DD チェックリストの整備
5. M&A と PMI を円滑に進めるための「グループ管理」の再設計
  - (1) 子会社と関連会社へのメリハリのあるガバナンスの効かせ方の論点整理 ★
  - (2) 海外にも通用する共通インフラの確立 ～シナジー効果の早期実現のために～ ★
  - (3) 取組み事例解説 ⑤グループ会社の分類別ガバナンスモデルの整備  
⑥グループ管理方針・グループ共通規程の整備  
⑦買収先マネジメントや派遣者向けハンドブックの整備

※コンサルタント業など講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。